

## 2021年度 神奈川県善意通訳の集い 実施報告

日時：2021年10月16日（土）13:30～15:10

場所：Zoom ウェビナーによるライブ配信

参加者：149名

### 【プログラム】

- 主催者挨拶
- 来賓ご挨拶
- パネルディスカッション

「何をする、何ができる、ウィズ・アフターコロナ時代のSGG活動」

- 閉会挨拶

### 【概要】

昨年度に続き、今年度もコロナ禍のため会場に集合して開催することは出来なかったが、SGG活動に大きく影響を及ぼしている新型コロナをテーマとした。

主催者挨拶に続き、ご来賓の方々より今夏のオリンピック・パラリンピックでのボランティアの活動や現下の県内外の状況、また、コロナ後の善意通訳活動への期待等のお話があった。

続いて初めての試みであったが、コロナ禍でのSGG活動をテーマに、奈良・小田原箱根・神奈川各SGGの会長が登壇し、コロナ発生後、どのような活動を行ってきたのか、そしてコロナ後のビジョンについて討議して頂き、最後にJNTO伊東和宏地域連携部担当部長に総括して頂いた。



いつもは会場で放映するミニムービーも、今回は「コロナ禍でのKSSG」というテーマに沿って編集し、集いの前後に流したので、当会の活動を多くの方に見て頂くことができました。

「神奈川県善意通訳の集い」は1988年に神奈川県主催で開催され、1993年から当クラブに委託されて現在に至っているが、その目的は、①善意通訳活動の拡大 ②会員の資質向上 ③情報交換の場とされている。今回はオンラインの特性を活かして全国8つのSGGの方々にも視聴して頂くことができた。

以上